

I 兵庫県立大学「国際商経学部」の開設について

兵庫県立大学では、社会のニーズに的確に対応するとともに、魅力ある教育研究を進めるため、経済学部・経営学部を再編し、平成31(2019)年4月に「国際商経学部」と「社会情報科学部」の2つの学部を開設します。

このうち、「国際商経学部」については、平成30(2018)年4月26日に文部科学省へ学部設置届出を行い、このたび、入学者選抜方法を含めた学部の全体像がまとまりましたので、発表致します。

(「社会情報科学部」については、文部科学省手続中であり、別途発表します。)

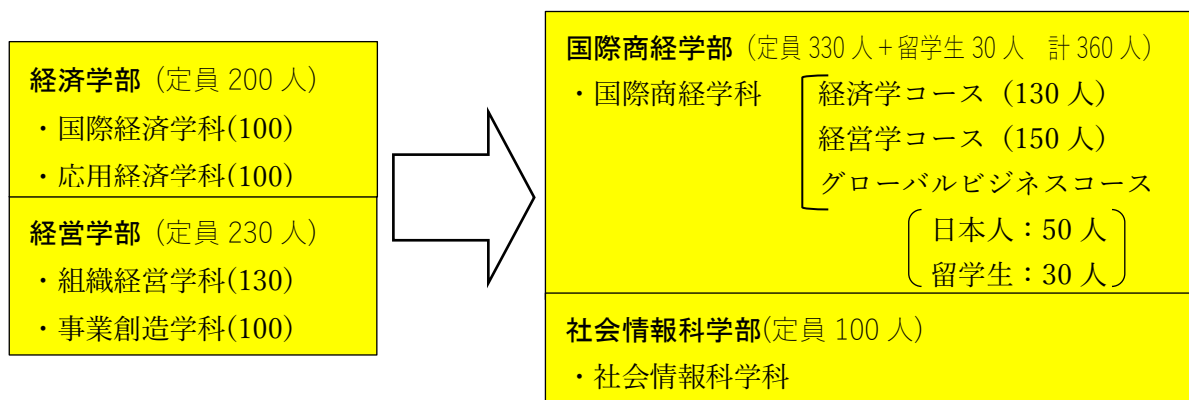
1 学部再編の概要

(1) 再編の考え方

急速なグローバル化の進行、人工知能の発達など情報科学技術の飛躍的な発展による社会構造の変化を見据え、経済経営を幅広く学ぶとともに、グローバル社会で活躍できる人材を育成する「国際商経学部」、社会に対する広範な知識と情報に関する分析能力を涵養する教育により創造的な人材を育成する「社会情報科学部」を設置する。

(2) 開設時期 平成31(2019)年4月

(3) 所在地 神戸商科キャンパス (神戸市西区学園西町8-2-1)



2 「国際商経学部」の特徴

① 専門教育コースの2年次選択制の導入

経済学コース・経営学コースについては、従来の学問の領域内だけでは解決できない課題に対応するため、2年次前期までは経済学、経営学の基礎を幅広く学び、2年次後期から学生の希望等により、それぞれの専門性を高める経済学コース、経営学コースを選択する。また、両学問分野にまたがる領域として「金融ファイナンス」と「社会イノベーション」に関するプログラムも配置する。

② すべての科目を英語で学ぶ「グローバルビジネスコース」の新設 及び 学部全体での国際力の強化

世界中から参集した外国人留学生とともに、すべての科目を英語で受講し、留学や海外研修等の海外体験を通じて国際感覚を身につけるグローバルビジネスコースを新設する。

当コース1年次の日本人学生と外国人留学生が共同生活する「国際学生寮」を新たに整備し、日常生活においても多文化空間を創出することで国際的なコミュニケーション能力を身につける環境を提供する。

外国人留学生については、海外の教育サイクルを考慮し秋入学(9月)とする。

また、グローバルビジネスコースの授業は、経済学・経営学コースの学生にも開放されており、英語で専門知識を身につける機会を提供するとともに、演習科目で海外研修を行うなど、学部全体として国際力の強化を図る。

③ 少人数教育を重視した演習科目を全学年で設定

神戸商科大学時代からの伝統を受け継ぎ、1年から4年まで各学年・学期に少人数で実施する演習科目を設定する。大学で学ぶための基礎から丁寧に指導し、学年が進むにつれ、自主性、専門性を高めていく。

④ 社会に求められる人材の育成

本学部の前身となる現在の経済学部、経営学部では、就職率99%と企業等から高く評価されている（平成30(2018)年3月卒業生）。

また、昨年末に企業2000社（回答520社）を対象に実施したアンケート調査においては、経済学コース・経営学コースは477社（91.7%）が社会的必要性を認め、437社（84.0%）に学生採用意向を示していただいている。

グローバルビジネスコースは483社（92.6%）が社会的必要性を認め、400社（76.9%）に学生採用意向を示していただいている。

これらの企業の期待に応えるべく、実社会で活躍できる人材の育成と先進的な教育研究を一層進めていく。

3 国際商経学部の学生募集

(1) 選抜方法及び定員

		経済学コース・経営学コース	グローバルビジネスコース	計
一般入試	前期	180名	25名	205名
	後期	40名	—	40名
推薦入試		60名	20名	80名
帰国生選抜		—	5名	5名
外国人留学生選抜		—	30名	30名
帰国生特別選抜		若干名	—	若干名
外国人留学生特別選抜		若干名	—	若干名
計		280名	80名	360名

(2) 学生募集（入学試験）における特徴

〔経済学コース・経営学コース〕

- ・ 基本的には、現経済学部・経営学部の選抜方法を引き継ぐ。
- ・ 後期日程において、外部英語能力検定のスコアを合否判定に使用する。

〔グローバルビジネスコース〕

- ・ 出願資格として一定以上の英語力を求める（CEFR^(注) B1レベル、英検2級相当以上）とともに、英語能力検定のスコアを合否判定に使用する。
- ・ 帰国生を積極的に受け入れるため、帰国生選抜に定員を設けた。
- ・ 外国人留学生選抜については、秋入学（9月）とし、現地（海外）において入試を実施する。

(注)CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)(外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠):言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際標準

4 「国際学生寮」の整備

グローバルビジネスコースの1年生(日本人学生、外国人留学生)が、4人1ユニットの居室での共同生活を通して、日常的に社会性や国際感覚及び国際コミュニケーション能力の獲得を目指す“教育寮”として「国際学生寮」を整備する。

1階には本学全体の国際交流・教育の拠点として「国際交流センター」を整備し、外国人留学生を含む全学の学生の交流の場としての活用を図るとともに、語学力向上・異文化体験の充実や研究者交流、地域住民も参画する交流活動等を企画・実施する。

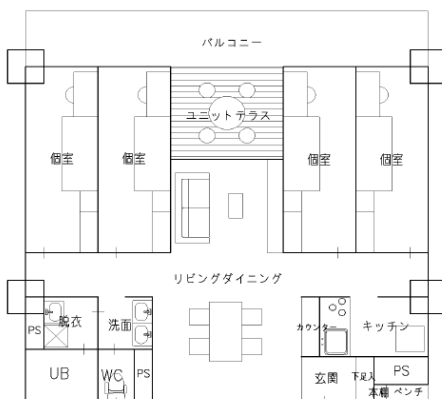
- (1) 建設場所：神戸商科キャンパス内
- (2) 整備内容：地上6階建 延床面積 約6,500 m²、概算事業費 約25億円

区分	フロア構成
国際学生寮 (2～6階) 約5,400 m ²	(各フロア) 4人部屋7室、1人部屋(大小)各1室 ランドリールーム1室 オープン交流スペース1か所
国際交流センター (1F) 約1,100 m ²	交流スペース 事務スペース、相談・打ち合わせスペース 管理人室 等

- (3) 供用開始：平成31(2019)年9月供用開始
- (4) 入寮予定者：150名程度

入寮者	人数	備考
国際商経学部グローバルコース1年生	88名	1年生全員入寮(外国人学生、日本人学生)
レジデント・アシスタント(RA) (グローバルコース2年生)	20名	交流プログラム：歓迎会、送別会、季節行事等 日常的なサポート：勉学、生活上のルール等のサポート
他学部・他コース留学生・短期留学生	32名	他学部等1年生(外国人学生、短期留学生) ※ 留学生会館機能を併有
大学院生	5名	年長者として、助言や相談に対応
教員	3名	教育プログラム実施など寮でのサポート
特別な配慮を要する学生等	2名	車いす等身体的配慮を要する学生のためにバリアフリー室を用意

ユニットイメージ



国際学生寮完成予想図



※上記外観等は基本設計段階のものであり、今後変更される可能性があります。

Ⅱ 平成31年度 兵庫県立大学(学部・大学院)の選抜方法等について

1 平成31年度兵庫県立大学(学部)入学者選抜方法等(選抜要項)について

平成31年度兵庫県立大学(学部)入学者選抜方法等(選抜要項)が決定しましたので公表します。

平成31年度選抜要項は、6月15日(金)から希望者に配布します。

なお、平成31年4月に設置予定の社会情報科学部(仮称)については、後日公表します。

〈郵送による請求〉

住所・氏名を記載し、返信用の205円切手を貼った角2封筒を、下記住所あてご送付ください。
なお、封筒の表面に必ず「選抜要項希望」と記載してください。

[兵庫県立大学本部]

〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1

兵庫県立大学本部 教育企画部教育企画課

電話 (078)794-6647(直通)

〈ホームページからのダウンロード〉

発表後に兵庫県立大学ホームページに掲載する予定としていますので、下記のアドレスよりダウンロードしてください。

兵庫県立大学ホームページアドレス

<http://www.u-hyogo.ac.jp/index.html>

2 平成31年度兵庫県立大学大学院入学者選抜方法等(選抜要項)について

平成31年度兵庫県立大学大学院入学者選抜方法等(選抜要項)が決定しましたので公表します。

【問合せ先】

(新学部(国際商経学部)の教育内容、入試方法に関する問合せ)

兵庫県立大学 経営研究科 研究科長 山口 隆英

TEL: 078-794-6635 FAX: 078-794-5575

E-mail: t-yama@mba.u-hyogo.ac.jp

(その他新学部に関する問合せ)

兵庫県立大学 教育企画部大学教育改革室長 松岡 也寸志

TEL: 078-794-6635 FAX: 078-794-5575

E-mail: yasushi_matsuoka@ofc.u-hyogo.ac.jp

(入学者選抜方法全般に関する問合せ)

兵庫県立大学 教育企画部教育企画課長 宮原 芳文

TEL: 078-794-6647 FAX: 078-794-5575

E-mail: yoshifumi_miyahara@ofc.u-hyogo.ac.jp